

今月の人

人材バンクより南国市の生涯学習に深く寄与して下さる方を紹介していきます。
今回は、前田憲一さんです。



前田憲一さん(大埔市生涯学習センター管理 鉄道の話)

8年前まで楽器のヤマハに勤務。演奏よりも、経営の方で腕腕をふるっていたそうです。

庭づくりが得意で「庭には生きた草木の成長がある。石、土など容易に動かないものもあって結構難しく、また面白い。恐れずに、勇気をもって庭にハサミを入れることが大事」とのこと。

その他にも、驚くほど詳しいのが鉄道のこと。乗っている車両の名前はもちろん、電気系統のことから、型式、ブレーキの仕組み、通過中のトンネルの山の分水嶺のことまで知っていて、その知識は地理学の専門家に負けず。

生涯学習は学習ボランティア。知識を生かして社会の役に立ちたいというのが前田さんの考え方。これからも「共に学ぶ」を基本に、ボランティア活動を続けていきたいとのことでした。

短歌

横綱をめざさん安芸の土佐の海

やがてぞ歩む晴れの花道

後免町 田所 芳忠

ほり居の難人形をかざりおり

老の部屋にも淡き灯ともさむ

立田 北村 幸江

春立ちてきさらぎの寒さ厳しくも

はころびゆし紅白の梅

久枝 純久 昌男

ラパウルの烈士の御霊安かれと

戦友と慕いて今日もおろがむ

大埔 貞 光則

なに折ぐとさふにはあらね心経を

朝あさ編して心やすらぐ

西馬 門田美枝子

白鷺も薄氷ふみ解あさり

東も西風と罪分の朝

大埔 田所 志奈

俳句

節分は観音様のすべの音に

十市 田所小夜子

県境の伊予路も土佐も雪の中

植野 原 忠男

川柳

昔年は重年すんなり喜べず

田村 川口 岩春

寒鯉の洗ふて台の青みけり

物部 山本 桂

嫁のひなひ孫のひなと春の色

緑ヶ丘 細美じゆき

婚禮レ一列するや立春の風

植野 原 茂子

かあちゃんのことん車が行く初仕事

西野 田町 山岸 雅忠

新割りのすばりすばりと良寛忌

土佐山田町 洪田 妙

枯桜家系は平家刀鍛治

西豊町 山中 幸居

初氷振り向けば音減ってゆく

里改田 福井 英子

雪踏んで大脱走をしたくなる

里改田 福井 祥子

夜泣きする児に凍星のさらに凍つ

里改田 西田 寿子

引りあけて山の井水の静かな

里改田 山岡 多恵

温室しづくけふ春光でありしかな

前浜 浜田 久子

市の統計

面積	125.25km ²
人口	45,430人 (-28)
男	23,161人 (-22)
女	22,269人 (-6)
世帯数	13,266世帯 (+7)
()内は前月比	
《平成8年1月31日現在》	

火災・救急

《火災》		《救急》	
発生件数	9件	比動回数	131回
建物	3件	急病	74回
山林	1件	交通事故	19回
その他	5件	一般事故	18回
被害額	1038万円	その他	20回
《平成8年1月分》			

まほろば

三月は、留学生たちが晴れて博士となって帰国する別れの季節です。研究室はいつも深夜まで灯りがついていました。慣れない異国で、日本語以外の言葉を使つての研究の日々は、並み大抵のことではなかったでしょう。日本のこと、高知のこと、南国市のこと好きになってくれたでしようか。

帰国を前にした留学生に聞いてみると、日本語が少しはわかるようになって友人や知り合いが多く成るに比例して、高知のいい思い出がどんどん増えてきたといひます。留学生には、日本語がなばつて、そして友だちをたくさん作つてといひたいです。

私たちが外国語ダメ、と敬遠せずに、日本語でゆっくり話したらいいですね、考えてみてください。言葉が通じないあの間の悪さにめげず、ちよつと踏み留まつてお互い四苦八苦を楽しましよ。

心の方はちゃんと通じるものです。ひと声かけ合うような知り合いがいっぱいいる南国市、住みよこちのいい町の思いでは小さいことですが大きな宝物です。

(続)

広報は、地区連絡員さんたちのご協力で皆さんの家庭にお届けしています。